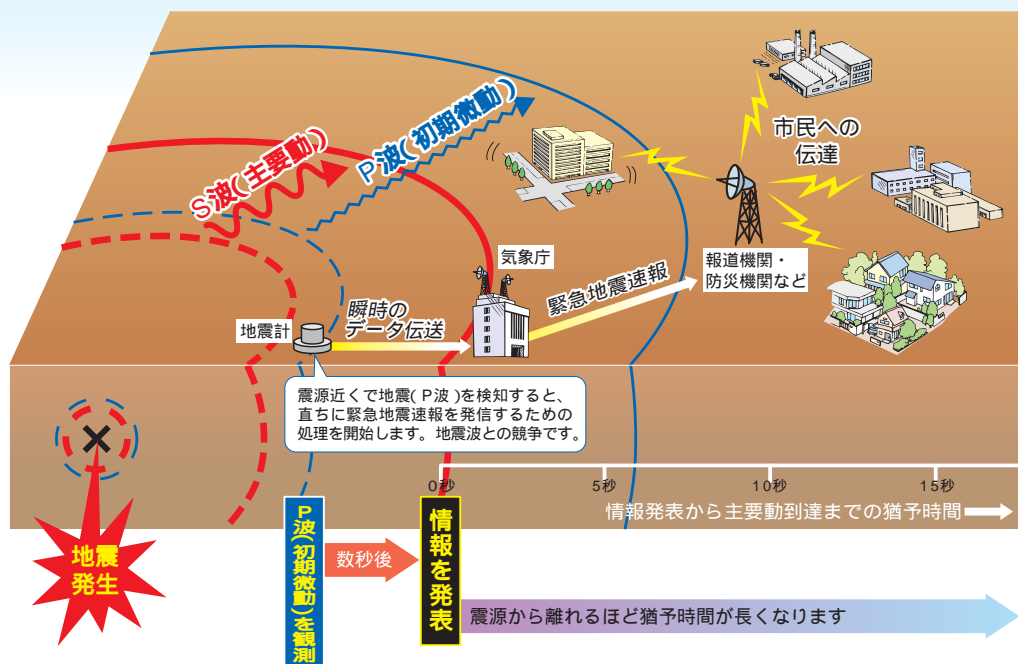


緊急地震速報のしくみ

緊急地震速報は、最大震度5弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ（震度4以上）の地域の名前を強い揺れが来る前にお知らせするものです



「緊急地震速報」は、震源近くで地震（P波、初期微動）をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算します。地震による強い揺れ（S波、主要動）が始まる数秒～数十秒前に、素早くお知らせします。

ただし、震源に近い地域では、「緊急地震速報」が強い揺れに間に合わないことがあります。

緊急地震速報

この秋、スタート



平成19年(2007年)能登半島地震

緊急地震速報提供から強い揺れが来るまでの猶予時間(秒)

緊急地震速報は、地震による強い揺れを事前にお知らせすることを目指す新しい情報で今年9月頃から提供を開始する予定です。

平成19年

国土交通省

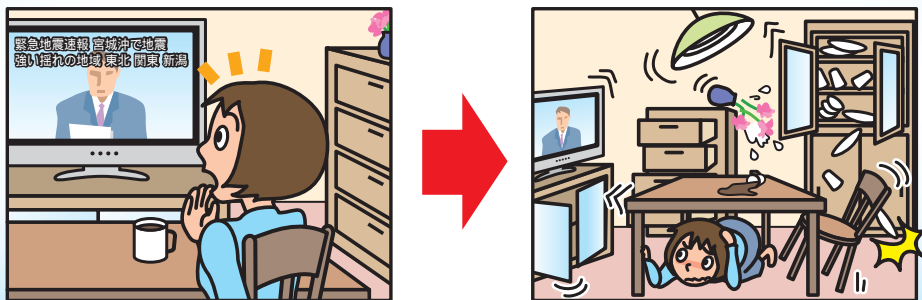
気象庁

「緊急地震速報」についてのお問い合わせ先
気象庁地震火山部管理課
〒100-8122 東京都千代田区大手町1丁目3番4号
電話：(03) 3212-8341 (代表)
気象庁ホームページ <http://www.jma.go.jp/>
緊急地震速報について
<http://www.seisvol.kishou.go.jp/eq/EEW/kaisetsu/index.html>

緊急地震速報は、独立行政法人防災科学技術研究所による技術開発の成果と、財団法人鉄道総合技術研究所と気象庁による共同技術開発の成果により、可能となりました。



家庭では 頭を保護し丈夫な机の下などに隠れる
あわてて外へ飛び出さない



人がおおぜいいる施設では

係員の指示に従う
落ちついて行動
あわてて出口に走り出さない



自動車運転中は
あわててブレーキをかけない

ハザードランプを点灯し、
揺れを感じたらゆっくり停止



緊急地震速報「利用の心得」

周囲の状況に応じて
あわてずに

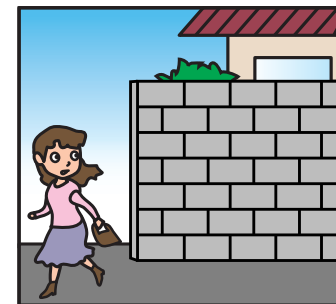
まず身の安全を確保する!

緊急地震速報は見聞きしてから、強い揺れが来るまでの時間が
数秒から数十秒しかありません
その短い間に身を守るための行動を取る必要があります

屋外(街)では

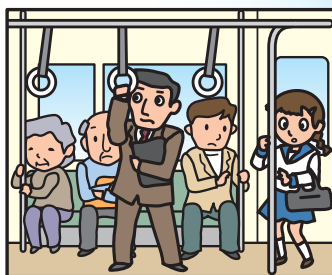
ブロック塀の倒壊等に注意

看板や割れたガラスの落下に
注意し、ビルのそばから離れる



鉄道・バス乗車中は

つり革、手すりに
しっかりつかまる



エレベーターでは

最寄りの階で
停止させすぐに
降りる



山やがけ付近では

落石やがけ崩れに注意

